様式第８号（第６条関係）

令和５年　４月　１４日

松江市議会議長　立　脇　通　也　様

松江市議会議員　　太田　哲

令和４年度政務活動費収支報告について

松江市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり令和４年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和４年度政務活動費収支報告書

松江市議会議員　　太田　哲

1　収　入

政務活動費　３００，０００円

2　支　出

（単位：円）

科　　目	金　　額	備　　考
研究研修費	８５，６３０円	東京：第13回全国原子力発電所立地議会サミット 姫路：第16回ＫＨＪ全国大会ｉｎ兵庫
調査旅費		
資料購入費	４０，８００円	新聞購読料、書籍購入
資料作成費		
合　　計	１２６，４３０円	

3　残　額　　１７３，５７０　円

（注）備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

（様式１－１）

令和４年度　政務活動費使用簿（議員）

管理番号	2	
使途項目	研修研究費	
使途内容	第１６回ＫＨＪ全国大会ｉｎ兵庫 ～ＫＨＪ全国ひきこもり家族会連合会・実践交流研修会～	
調査年月日 （購入年月日）	令和４年　１１月　５日（土）　～　令和４年　１１月　６日（日）	
政務活動費 支出額及び充当額	【支出内訳】　支出額	（うち政務活動費充当額）
	・旅費交通費（ＪＲ券、宿泊等）　円	円
	・　29,530　円	29,530　円
	・参加費　円	円
	・　2,000　円	2,000　円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
	・　円	円
合計額	31,530　円	31,530　円
備考		

議員名　【　太田　哲　】

（様式 5）

旅 費 計 算 書

議員名　　太田 哲

用務先	兵庫県姫路市
用務内容	第16回KHJ全国大会in兵庫
出張期間（出発及び帰市）	令和4年11月5日(土)　～　令和4年11月6日(日)　（1泊2日）

旅 費 請 求 明 細

年月日	曜日	出発地 / 到着地	用務地 / 宿泊地	鉄道(航空・船・車)賃 路程	運賃等	特別料金	日当・日額旅費 日数	定額	宿泊料・食卓料 日数	定額	旅行雑費
				km			日	円	日	円	
R4.11.5	土	松江市 兵庫県姫路市	兵庫県姫路市 〃 兵庫県姫路市	鉄道 鉄道	9,680	1,360 2,290	1	1,100	1	10,350	
R4.11.6	日	兵庫県姫路市 松江市	兵庫県姫路市	鉄道 鉄道	往路に含む	2,290 1,360	1	1,100			
小計					9,680	7,300	2	2,200	1	10,350	0
合計				29,530 円							

備考　1. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金。
2. 用務は主たる用務を具体的に、又用務地は順路により、それぞれ記載する。
3. 変更は朱書すること。

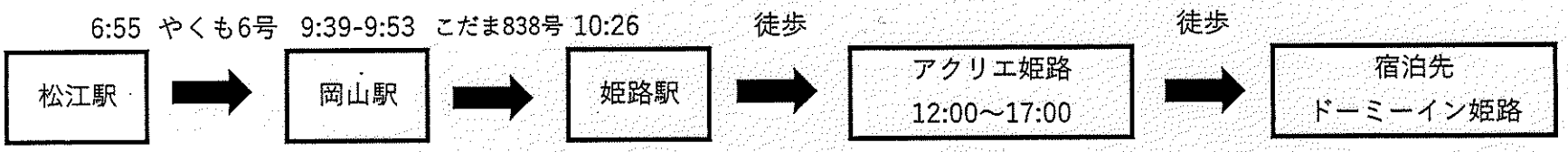
備考

※ 路程欄

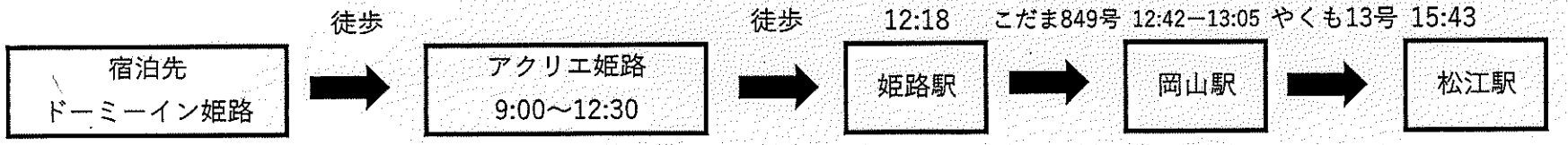
別紙のとおり

令和4年11月5日・6日　　第16回　KHJ全国大会ｉｎ兵庫　　行程表

●第１日目（令和4年11月5日（土）



●第２日目（令和4年11月6日（日）



YAHOO! JAPAN 路線情報

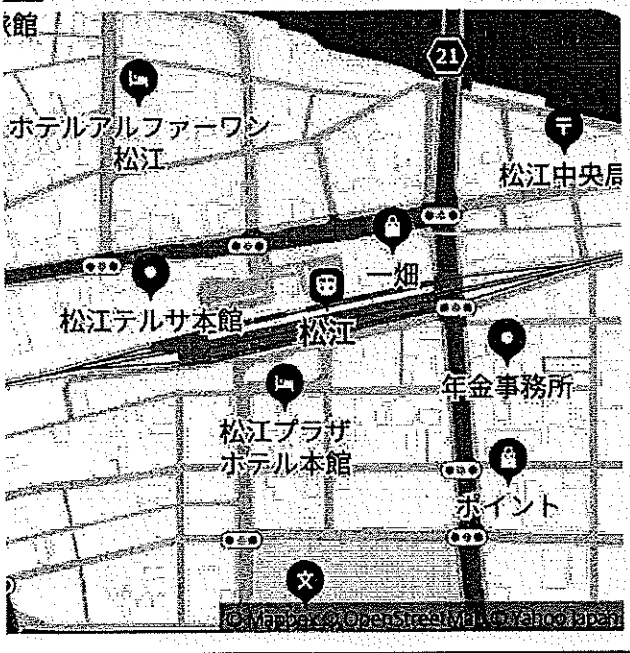
松江→姫路 2022年11月05日(土)06:30出発

06:55発→10:26着 3時間31分(乗車3時間17分) 早 楽 乗換：1回 276.6km

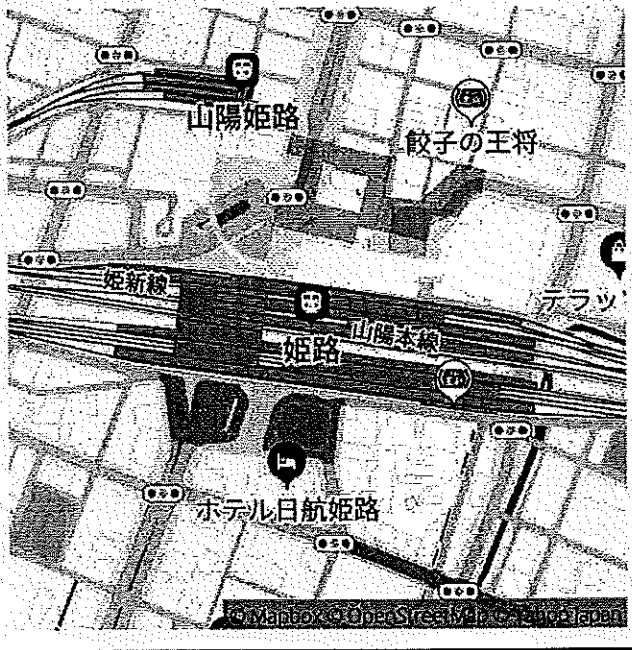
¥ 現金優先：8,490円（乗車券4,840円 特別料金3,650円）

06:55	発	松江		
8駅		ＪＲ特急やくも6号・岡山行 [発] 情報無し → [着] 3番線	指定席：1,360円	4,840円
09:39着 09:53発		岡山		
2駅		ＪＲ新幹線こだま838号・新大阪行 [発] 24番線 → [着] 情報無し	指定席：2,290円	
10:26	着	姫路		

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



（例）用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印

YAHOO! JAPAN 路線情報

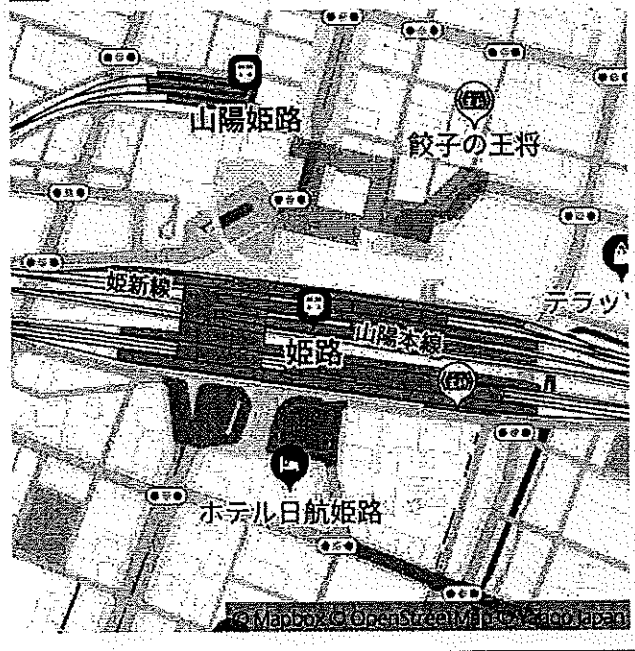
姫路→松江 2022年11月06日(日)11:30出発

12:18発→15:43着 3時間25分(乗車3時間2分) 乗換：1回 276.6km

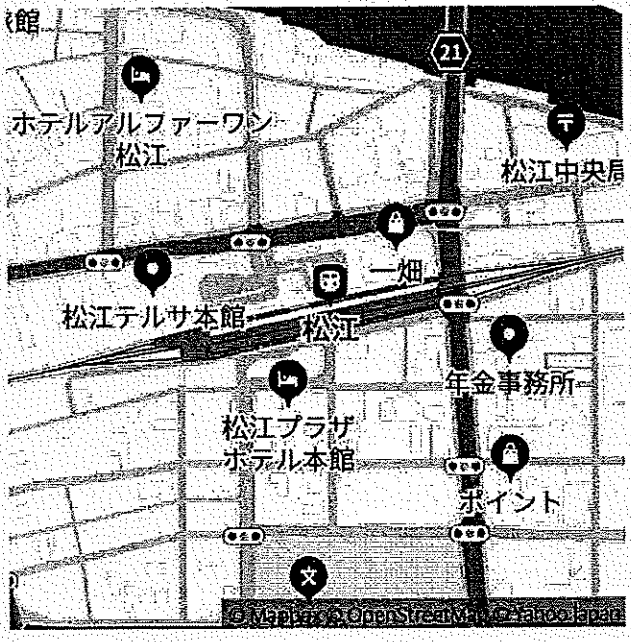
¥ 現金優先：8,490円（乗車券4,840円 特別料金3,650円）

12:18	発	姫路		
2駅		ＪＲ新幹線こだま849号・博多行 [発] 情報無し → [着] 21番線	指定席：2,290円	4,840円
12:42着 13:05発		岡山		
6駅		ＪＲ特急やくも13号・出雲市行 [発] 2番線 → [着] 情報無し	指定席：1,360円	
15:43	着	松江		

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



（例）用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印

チケット番号1つにつき、1回しか受付できません。チケット番号毎に印刷して開催場所へお越しください。

チケット番号

A_30

2,000 円

イベント名　**2022年11月5日（土）6日（日）KHJ全国大会 in 兵庫**

チケット名　**①【大会】会場参加費：一般・家族※後日視聴も可**

開催日時　**2022/11/05(土) 12:30 ～ 2022/11/06(日) 12:30**

開催場所名　**アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）4F**

開催場所

〒670-0836　兵庫県姫路市神屋町143-2

購入者名　**オオタ サトシ**

注文番号 **0212N1XMURTI2**

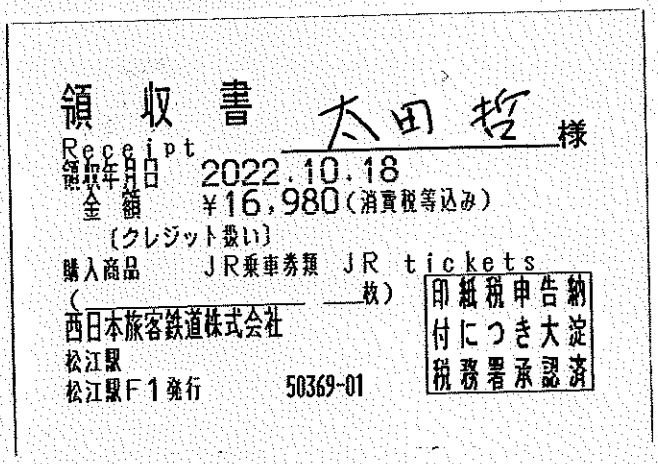
[redacted]

（様式１－２）

領収書貼付用紙

使　途	第１６回ＫＨＪ全国大会ｉｎ兵庫　　旅費交通費

【貼付欄】



領収書　太田哲　様
Receipt
領収年月日　2022.10.18
金額　¥16,980（消費税等込み）
〔クレジット扱い〕
購入商品　ＪＲ乗車券類　ＪＲ tickets
（　　）　　枚）
西日本旅客鉄道株式会社
松江駅
松江駅Ｆ１発行　50369-01
印紙税申告納付につき大淀税務署承認済

（注意）
１．この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。（ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。）
２．領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名　【　太田　哲　】

C制 乗車券（ゆき）（幹）

松江 → 姫路

経由:山陰・伯備・山陽・岡山・[illegible]
11月 5日から11月10日まで有効 ¥[illegible]

2022.10.-9 松江駅Ｆ１発行
60377-03 (4-)R524C35

特急券

松江 → 岡山

11月 5日（[illegible]） （9:39着） C3
やくも 6号 3号車12番Ｄ席
¥1,360

R524 乗継

2022.10.-9松江駅Ｆ１ (4-) 60377-01

C制 新幹線特急券

岡山 → 姫路

11月 5日（ 9:53発） （10:26着）乗継 C43
こだま 838号 5号車 9番Ｄ席
¥2,290

R524

2022.10.-9松江駅Ｆ１ (4-) 60377-02

C制 乗車券（かえり）（幹）

姫路 → 松江

経由:姫路・新幹線・岡山・山陽・伯備・山陰
11月 5日から11月10日まで有効 ¥9,680

2022.10.-9 松江駅Ｆ１発行
60377-04 (4-)R524C35

C制 新幹線特急券

姫路 → 岡山

11月 6日（12:18発） （12:42着）乗継 C43
こだま 849号 4号車17番Ｄ席
¥[illegible]

R541 乗変

(4-) 40368-01

C制 特急券

岡山 → 松江

11月 6日（13:05発） （15:43着） C33
やくも 13号 6号車10番Ｄ席
¥1,360

R541 乗継 乗変

2022.10.18松江駅Ｆ１ (4-) 40368-02

（様式１－２）

領収書貼付用紙

使　途	第１６回ＫＨＪ全国大会ｉｎ兵庫　　宿泊代

【貼付欄】

No 202211060039

領収書
(RECEIPT)

お名前 NAME	太田 哲　様

発行日 ISSUED	2022/11/06

領収金額 BALANCE DUE	8,150

(上記金額には消費税が含まれております)
クレジット分 ¥8,150 を含みます
朝食無

(内消費税 Con.Tax ¥727) (軽減税率対象額 ¥0)
(標準税率対象額 ¥8,000) (経過措置対象額 ¥0)

ドーミーイン姫路
〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢
TEL 079-286-5489
FAX 07
http://www.hotespa.net/dormy

[redacted]

（注意）
１．この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。（ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。）
２．領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名　【　太田　哲　】

（様式１－２）

領収書貼付用紙

使　途	第１６回ＫＨＪ全国大会ｉｎ兵庫　研修会参加費

【貼付欄】

別紙の通り

（注意）
１．この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。（ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。）
２．領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名　【　太田　哲　】

領収書

No. A-30

発行日　2022/11/18
申込日　2022/10/07

太田 哲　様

¥2,000-　(税込)

但し　参加費として
上記正に領収いたしました。

印　収

紙　入

特定非営利活動法人ＫＨＪ全国ひきこもり家族会連合会
〒170-0002
東京都豊島区巣鴨1-22-32
TEL：03-5944-5250
FAX：03-5944-5290

（様式３－１）

研究研修 調査　報告書

議員名　　太田　哲

１．期　　間　　令和４年１１月５日（土）～１１月６日（日）

２．会　場　等　　アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）

３．調査項目等　　2022年度　第16回KHJ全国大会in兵庫
～KHJ全国ひきこもり家族会連合会・実践交流研修会～

11/5（土）　12：30　開会宣言
13：00　基調講演『ひきこもりの多面的理解に基づく本人・家族支援
14：00　基調報告　境　泉洋（宮崎大学教育学部教授）
11/６（日）　9：30　テーマ別分科会　第4分科会『8050等の諸課題』
12：30　閉会

４．基調講演講師　　加藤　隆弘：九州大学大学院医学研究院精神病態医学・准教授
（九州大学病院　気分障害ひきこもり外来・主宰）

５．調査内容・所感等

◎『ひきこもりの多面的理解に基づく本人・家族支援』～深層心理から脳科学まで～

・中高年のひきこもり６１万人（内閣府調査）、高齢化があきらかになっている。

①60～64才：17%、②25～29才：14.9%、③20～24才：12.8%、④40～44才：12.8%、⑤55～59才：10.6%

・ひきこもりは国際的にも増えており香港1．9%（電話調査）、中国にも存在しておりメンタルヘルスにおける新たな世界的課題になっている。

・ひきこもりの開始から支援につながるまでには、平均4.4年かかるという調査報告がある。

・ひきこもりの長期化を防ぐための最も重要な視点は本人の来談・受診をできるだけ早く実現すること

●メンタルヘルス・ファーストエイド(早期介入）の活用～ひきこもりに対する早期介入～

・眠れない日が続く、不安な日が続くなど⇒心の応急処置

・憂鬱な気分が続くとき⇒心身近な人の心の不調サインに気づいたら

り　①声をかけ、リスクを評価し、その場でできる支援を始めましょう

（様式３－２）

は　②きめつけず、批判せずに話を聞き、コミュニケーションをとりましょう

あ　③安心につながる支援と情報を提供しましょう

さ　④専門家のサポートを受けるよう勧めましょう

る　⑤その他のヘルプやセルフヘルプ等のサポートを勧めましょう

◎家族が最初に支援者になるための５つのステップ

ひ　①評価：ひきこもり状況の理解

き　②聴く：傾聴による相談しやすい居場所づくり

こ　③声かけ：適切な声かけによるポジティブな行動変化

も　④求める；状況に応じて専門家の支援を求める

り　⑤リラックス：リラックスできる家庭での取り組み

①評　価：ひきこもりに関する知識を学ぶことが大切。ひきこもりと心の病（精神疾患）、統合失調症

鬱病などひきこもり者に精神疾患（発達障害）をみとめることは稀ではない。

精神疾患と診断されない状態でも何らかな心の苦しみをもっていることはある。ｸﾞﾚｰｿﾞｰﾝの

方こそ『生きずらさ』を抱きやすいかもしれない。

②聴　く；傾聴による相談しやすい居場所づくり、傾聴の原則として自分の意見をさしはさまない

完全に聞き手にまわる、相手が話しやすいように、十分に待つ。あいづち、繰り返し、

感情の反映など傾聴を身に付けると相手の反応に柔軟にできるようになる。

③声かけ：説教せずに、心配で助けになりたいことを伝える。聞きやすい症状から尋ねる。

④求める：状況に応じ専門家に支援を求める。専門家が必要な状況を理解。希望がもてるように

伝える。

⑤リラックス：家庭をリラックスできる居場所にする。親自身が笑顔を取り戻すこと。

●心の再構築：ひきこもりと創造性　”ひきこもり者を治療を通じて、登壇者が得た視点”

・ひきこもりには偏見・恥の問題が大きい。社会全体の精神疾患の偏見解消が重要である。

・『くすり』の治療への抵抗が強いが、薬で著効するケースも少なくない。

・ひきこもりは悪いばかりではない？！現代社会は、ひきこもりを悪として捉えすぎている？

・画一的な教育システム・受験戦争（答えは本当に一つ？大学受験の成功だけが人生じゃない！？

⇒『多様な生き方の存在と意義』を教育する重要性

・　（例）ひきこもらないとできない仕事がある！　小説家、ライター、研究者？

・ひきこもりの良い面に目をむけてあげることが支援の出発点

・物理的に引きこもらざるを得ない心境にあることへの共感

・治療・支援の要は、心の中に『安心してひきこもって良い場所をつくってあげること』

外にいても心の中に安心な場所があると、物理的に自宅にひきこもる必要がなくなる

◎テーマ別分科会（２日目）　第4分科会『8050等の諸課題～兄弟姉妹へのアプローチ』

・8050問題とどう向き合うのか『豊中市社会福祉協議会の実践から』

・地域共生社会への新たなステージ

・一人も取りこぼさない・・・SOSを出せない人に届く

・排除から包摂へ・・・・総論賛成各論反対

・支えられた人が支える人へ

・すべての人に居場所と役割を

・・・・それを支えるために丸ごと断らない福祉、多機関協働

・・・・福祉が町おこし

・・・・・社会的孤立への対応

・ひきこもりの二つのタイプ

①経済的の裕福な場合　※親の年金で食べられる 孤立　発見が遅れる

親が大企業　⇒　転勤　不登校　ひきこもり

⇒　受験失敗

⇒就職　うつ・リストラ　介護離職

②経済的に困窮している場合　　※　親元で生涯暮らす　貧困の連鎖

親が困窮　⇒　不登校　⇒　学習できない　⇒　ひきこもり

8050問題は経済構造によって生まれた平成の遺産から

・一人もとりこぼさない

①ローラー作戦　年間3600軒、見守りＭＡＰ作成　②マンションサミット、マンション交流会

事例１　20年以上のひきこもり

・父親が大企業に勤めていて転勤。子どもが転勤によりいじめ。受験期に失敗。ひきこもり

⇒両親を家族会に参加の呼びかけ。本人を居場所に⇒就労体験

事例２　親亡き後のひきこもり

・母親が生前福祉何でも相談のチラシを持っていた。大学卒業後社会に出れない。

⇒親亡き後チラシを持って福祉何でも相談に、生活困窮者支援で就労に

事例３　特技を活かして社会参加を

・アウトリーチ、本人のやりたいことを聞き出すと漫画、詩、出版、音楽、農業、なぞなぞ

⇒本人のできる活動を見つけ、ひきこもり通いの場『びーの』で活動を作り出す。

事例３　５４回目のアウトリーチ

・有名国立大学院ドロップアウト、親との連携がとれない。履歴書に書くことがない。破れた靴

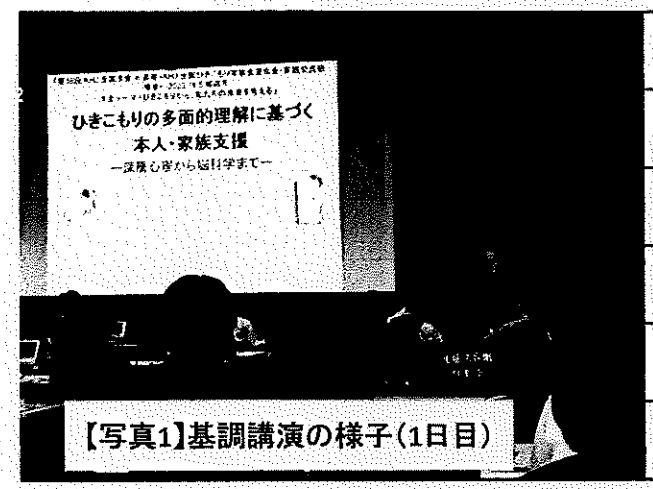
⇒アウトリーチ、医療・カウンセリング・就労支援⇒知り合いの自営業者

事例４　本人の困り感を支える

・歯が痛い、髪が切りたい、自転車が欲しい、お金が欲しい、仕事をみつけたい　などなど

⇒本人が必要なことから支援を始める。伴走型支援

（様式３－２）



【写真1】基調講演の様子（1日目）

【写真2】基調講演の様子（1日目）

【写真3】分科会の様子（2日目）

【写真4】分科会の様子(2日目)

（様式１－１）

令和４年度　政務活動費使用簿（議員）

管理番号	3
使途項目	資料購入費
使途内容	第１紙目新聞購読料　（山陰中央新報）
調査年月日 （購入年月日）	令和４年４月～　令和５年３月

政務活動費 支出額及び充当額	【支出内訳】	支出額		（うち政務活動費充当額）	
	・購読料	39,600	円	0	円
購読料	・		円		円
12ヶ月（1ヶ月：3,300円	・		円		円
	・		円		円
	・		円		円
	・		円		円
	・		円		円
	・		円		円
	・		円		円
	・		円		円
	・		円		円
合計額		39,600	円	0	円

備考	第１紙目新聞購読料（山陰中央新報）は領収書添付

議員名　【　太田　哲　】

（様式１－２）

領収書貼付用紙

使　途	新聞購読料　山陰中央新報

【貼付欄】

領　収　証

No. 001202

太田 哲 様　　2023年 3月31日

金額			¥	3	9	6	0	0	円
					千				

但 山陰中央新報購読料 @3,300×12ヶ月分
(2022年4月～2023年3月分) 軽減税率対象
上記正に領収いたしました

収入印紙

[redacted]

(有)山陰中央新報松江東部専売所
代表取締役 樋 野 重 [redacted]
松江市菅田町23-[redacted]
TEL (0852) 22－31[redacted]
FAX (0852) 28－3135

（注意）
1．この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。（ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。）
2．領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名　【　太田　哲　】

（様式１－１）

令和４年度　政務活動費使用簿（議員）

管理番号	4			
使途項目	資料購入費			
使途内容	第２紙目新聞購読料　（毎日新聞）			
調査年月日 （購入年月日）	令和４年４月～　令和５年３月			
政務活動費 支出額及び充当額	【支出内訳】　支出額		（うち政務活動費充当額）	
	・	40,800 円	40,800	円
購読料	・	円		円
12ヶ月（1ヶ月：3,400円）	・	円		円
	・	円		円
	・	円		円
	・	円		円
	・	円		円
	・	円		円
	・	円		円
	・	円		円
	・	円		円
合計額	40,800	円	40,800	円
備考	第２紙目新聞購読料（毎日新聞）は領収書添付			

議員名　　【　　太田　哲　　】

（様式１－２）

領収書貼付用紙

使　途	新聞購読料　毎日新聞

【貼付欄】

MAINICI 領収証

2022年4月分～2023年3月分　　No.

太田 哲 様

銘柄	部	金額
毎日新聞	12	40,800
合計 ※は軽減税率対象品目		¥40,800

お知らせ

毎度ご購読有難うございます。
上記の通り領収致しました。

8%対象　（消費税　　）
10%対象　（消費税　　）

毎日新聞松江城東販売所
〒690-0021
松江市矢田町250-36
TEL: 0852-28-5445　FAX: 0852-24-5120

[redacted] 2023年3月31日

（注意）
1．この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。（ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。）
2．領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名　【　太田　哲　】

（様式１－１）

令和４年度　政務活動費使用簿（議員）

管理番号	/
使途項目	研修研究費
使途内容	第１３回全国原子力発電所立地議会サミット
調査年月日 （購入年月日）	令和４年　10月　27日（木）　～　令和４年　10月　28日（金）

政務活動費 支出額及び充当額	【支出内訳】	支出額	（うち政務活動費充当額）
	・旅費交通費	円	円
	・	41,100 円	41,100 円
	・参加費	円	円
	・	13,000 円	13,000 円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
合計額		54,100 円	54,100 円
備考			

議員名　【　太田　哲　】

（様式 5）

旅 費 計 算 書

議員名　　太田 哲

用務先	東京都港区
用務内容	第13回全国原子力発電所立地議会サミット
出張期間（出発及び帰市）	令和4年10月27日(木)　～　令和4年10月28日(金)　（ 1 泊 2 日）

旅 費 請 求 明 細

年月日	曜日	出発地 / 到着地	用務地 / 宿泊地	鉄道(航空・船・車)賃 路程	運賃等	特別料金	日当・日額旅費 日数	定額	宿泊料・食卓料 日数	定額	旅行雑費
				km			日	円	日	円	
R4.10.27	木	松江市 東京都港区	東京都港区 東京都港区	航空機 鉄道	27,400 300		1	1,100	1	10,900	
R4.10.28	金	東京都港区 松江市	東京都港区	鉄道 航空機	300 往路に含む		1	1,100			
小　計					28,000	0	2	2,200	1	10,900	0
合　計		41,100 円									

パック旅行利用（１泊朝食付）
旅行代金＝パック旅行代金36,100円＋食事代2,200円＝38,300円
往復航空賃＝旅行代金38,300円－宿泊料10,900円＝27,400円（限度内）
（限度額64,340円）

備考　1. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金。
2. 用務は主たる用務を具体的に、又用務地は順路により、それぞれ記載する。
3. 変更は朱書すること。

備考

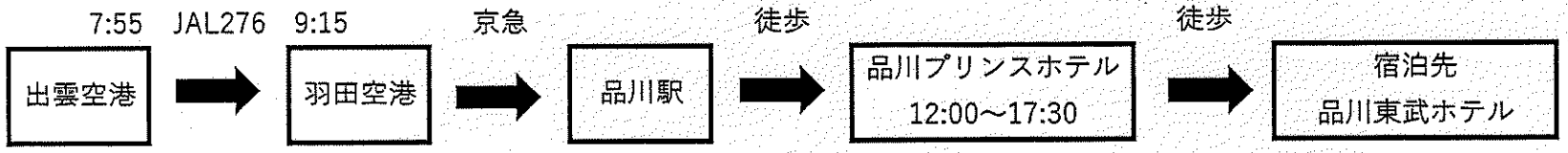
パック旅行利用　1泊朝食なし

※　路程欄

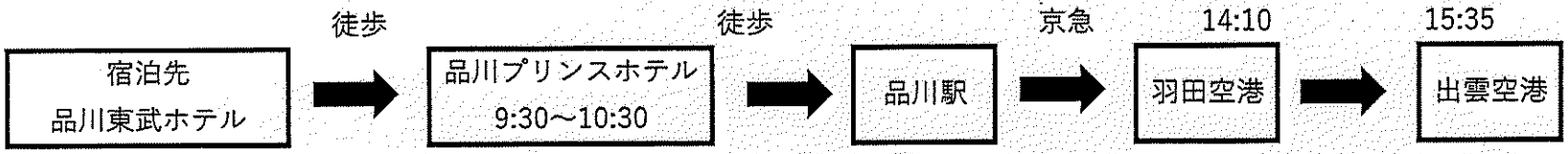
別紙のとおり

令和4年10月27日・28日　第13回原子力発電所サミット立地議会サミット　行程表

●第１日目（令和4年10月27日（木）



●第２日目（令和4年10月28日（金）



YAHOO! JAPAN 路線情報

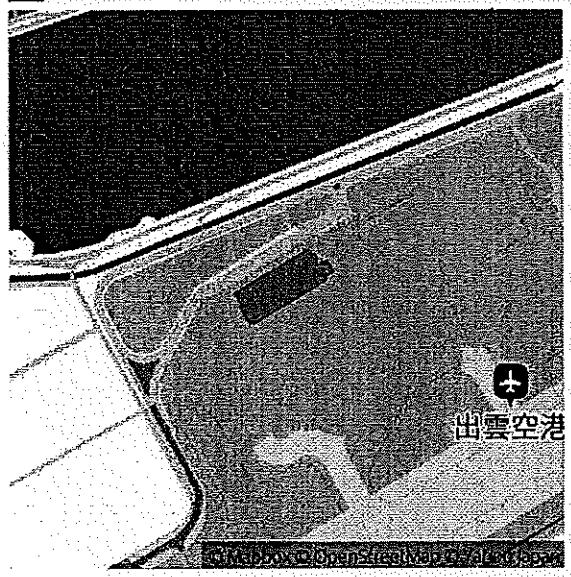
出雲空港→品川プリンスホテル 2022年10月27日(木)07:30出発

07:55発→10:14着 2時間19分(乗車1時間36分) 乗換：1回 815.7km

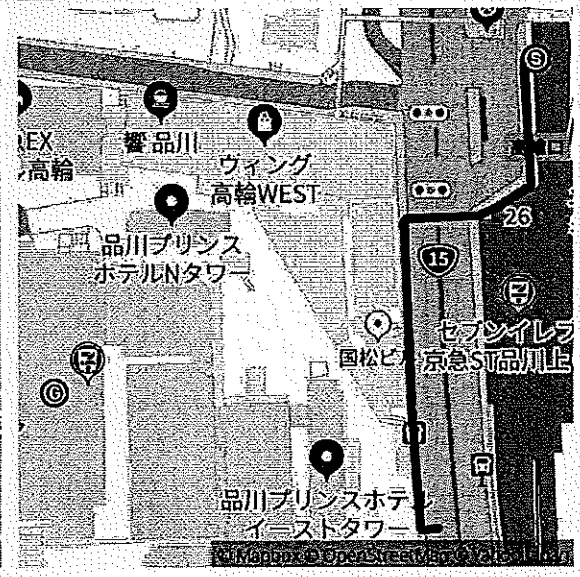
¥ 現金優先：36,220円

07:55	発	出雲空港	
		ＪＡＬ276便	35,920円
09:15着 09:38発		羽田空港(東京)	
		徒歩	
09:43着 09:52発		羽田空港第１・第２ターミナル(京急)	
3駅		京急空港線快特・印旛日本医大行 [発] 1・2番線 → [着] 2番線	300円
10:08着 10:12発		品川	
		徒歩2分	
10:14	着	品川プリンスホテル	

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



（例）用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印

YAHOO! JAPAN 路線情報

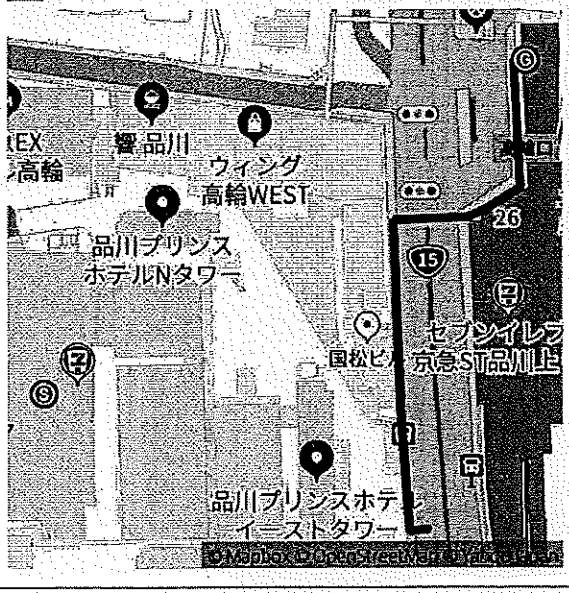
品川プリンスホテル→出雲空港 2022年10月28日(金)12:00出発

12:59発→15:35着 2時間36分(乗車1時間40分) 乗換：1回 815.7km

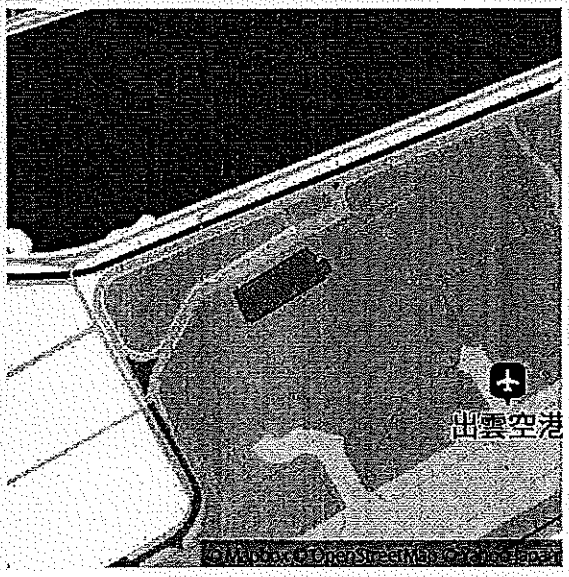
¥ 現金優先：36,220円

12:59	発	品川プリンスホテル	
		徒歩2分	
13:01着 13:05発		品川	
3駅		京急本線快特・羽田空港第１・第２ターミナル行 [発] 1番線 → [着] 1・2番線	300円
13:20着 13:22発		羽田空港第１・第２ターミナル(京急)	
		徒歩	
13:27着 14:10発		羽田空港(東京)	
		ＪＡＬ283便	35,920円
15:35	着	出雲空港	

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



（例）用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印

（様式１－２）

領収書貼付用紙

使　途	第１３回全国原子力発電所立地議会サミット　　旅費、宿泊代

【貼付欄】

別紙の通り

（注意）
１．この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。（ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。）
２．領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名　【　太田　哲　】

株式会社　ＪＴＢ

領　収　証

通　　番	[redacted]
領収証番号	
発　行　日	2022年 9月20日

太田　哲 様

下記の金額正に領収いたしました

￥３６，１００－

但し 10月27日 国内旅行ご旅行代金として
往復航空券代金と宿泊（食事なし）パック商品

ご入金内訳（ 今回のご入金額 ）

日　付	種　　別	金　　額
2022/09/20	クレジット	¥36,100
	合　計　金　額	￥36,100

山陰支店
〒690-0003　島根県松江市朝日町
４７７－１７
松江ＳＵＮビル７階
TEL：0852-23-6720

出納責任者	[redacted]
取　扱　者	

[redacted]

印	紙	税	申	告	納		
付	に	つ	き	品	川		
税	務	署	承	認	済		

作成地：東京都品川区東品川２－３－１１

領収個所名、領収印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

（様式１－２）

領収書貼付用紙

使　途	第１３回全国原子力発電所立地議会サミット　　参加費

【貼付欄】

領　収　書

太田　哲　様

金１３，０００円

ただし、第１３回全国原子力発電所立地議会サミット
参加費として、領収しました（１３，０００円×１人分）

令和４年８月３０日

全国原子力発電所立地市町村議会議長会
会長　柏崎市議会議長　真　貝　維　義 [redacted]

（注意）
1．この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。（ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。）
2．領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名　【　太田　哲　】

（様式３－１）

研究研修　調査（報告書）

議員名　　太田　哲

１．期　　間　　令和４年１０月２７日（木）～１０月２８日（金）

２．会　場　等　　品川プリンスホテル

３．調査項目等　　**第13回全国原子力発電所立地議会サミット**

【テーマ】2050年カーボンニュートラルと原子力～立地地域が目指すこれからの方向性～

10/27（木）13：00～13：40　開会式 会長・実行委員長・経済産業省・文科省・内閣府

13：50～14：50　基調講演『カーボンニュートラルと原子力政策』

15：10～17：30　分科会（第2分科会：脱酸素社会における原子力のあり方）

10/28（金）　9：30～10：10　全体会

10：10～10：30　閉会式（サミット大会宣言、次期開催地代表あいさつ）

４．基調講演講師　　（一社）日本エネルギー経済研究所戦略研究ユニット原子力Ｇマネージャー

村上　朋子　様

５．調査内容・所感等

◎基調講演『カーボンニュートラルと原子力政策』～エネルギー政策における原子力の意義～

・持続可能な社会を目指すためのＳＤＧｓの理念にあてはめるとカーボンニュートラルへの原子力の貢献とともに併せて経済成長・多くの分野における雇用の創出への貢献をしている。

（No.13 気候変動、No.17 国際協力、No.8 経済成長、No.7 エネルギー）

・原子力が低炭素のエネルギー源であることは原理的に明らかで1980年代後半には原子力に関する政策文書で『地球温暖化』に言及し、昨今、酸性雨問題、大気中の二酸化炭素濃度上昇に伴う温室効果等地球規模での環境問題が議論されているが、この点において原子力発電は環境影響が小さく大気汚染物質の総量を軽減するという特徴を有している。⇒　何十年も前から認識されていること。

・ウクライナ危機とエネルギー安全保障、Ｒ4年２月２４日ロシアがウクライナへの侵攻開始

その結果米国、ﾎﾟｰﾗﾝﾄﾞ、トルコ、スペイン等ではロシア産化石燃料輸入量減少

一方、インド、中国、ＵＡＥ等では増加している。

ドイツ経済気候変動省は今年末で停止予定だった３基を2023年４月まで予備力として保持する。

・原子力発電は世界３３カ国で使われているが、トップ３カ国で世界の設備の容量の半分以上

2022年1月現在、１アメリカ、２フランス、３中国、４日本、５ロシア、６韓国、７カナダ　他

３．日本の原子力政策の進め方

・原子力発電の現状　運転中33、建設中3、計画中8（10適合審査申請中、７適合審査終了、10再稼働済）

・新規制基準適合審査は審査開始当初は２年程度であったはずなのに現在は長期化しており

審査プロセスは６年以上かかっている。

・エネルギー安定供給の再構築、ロシアによるウクライナ侵略・電力需給ひっ迫を受けた安定供給の危機

ＧＸの歩みを進めることは、化石燃料への大きく依存するエネルギー需給構造の転換を図るものであり将来に渡って我が国の安定供給確保に資するため、この取組みを加速する必要がある。

世界的な有事の下で、２０３０年度４６％削減目標や２０５０年カーボンニュートラルを目指すためにも安定供給の再構築に向けた多様性（エネルギー源+調達先）とレジリエンス（抵抗力+回復力）を高めることに全力を上げる必要がある。これなくしてＧＸに向けた国民的理解は得られない。

供給不安に直面するリスク

中東地域紛争によるホルムズ海峡封鎖、テロ等による油田、ガス田の爆破・破壊が起きてしまってから泥縄では遅い。エネルギー安全保障は一日でできない。

スケジュール2023年春：工事短縮努力、点検計画調整⇒最大９基の稼働確保

2024春：安全工事の円滑実施、着実な再稼働（高浜1・2、女川2、島根２）

2020代半ば～的確な審査対応に向けた相互ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの改善、理解確保の国の取組・事業環境の整備

今後の検討事項

１．再稼働への関係者の総力の結集

①立地地域との共生：立地地域の実情やニーズに応じた課題解決に向け、国及び事業者はより積極的に取組んでいく必要がある。

②国民各層とのコミュニケーションの深化：対象それぞれのニーズに応じ、コミュニケーションの目的の明確化・手段の多様化が求められる。

（様式３－２）

③自主的安全性の取組：国および事業者は、幅広い関係者との連携の下、安全マネジメント体制の更なる改革に取組むべき

２．運転期間の延長など既設原発の最大限活用

40年という期間に明確な科学的根拠はなく、運転期間の設置を『原子力利用の根拠』である『基本原則』に即して検討するべきである。

３．次世代革新炉開発・建設

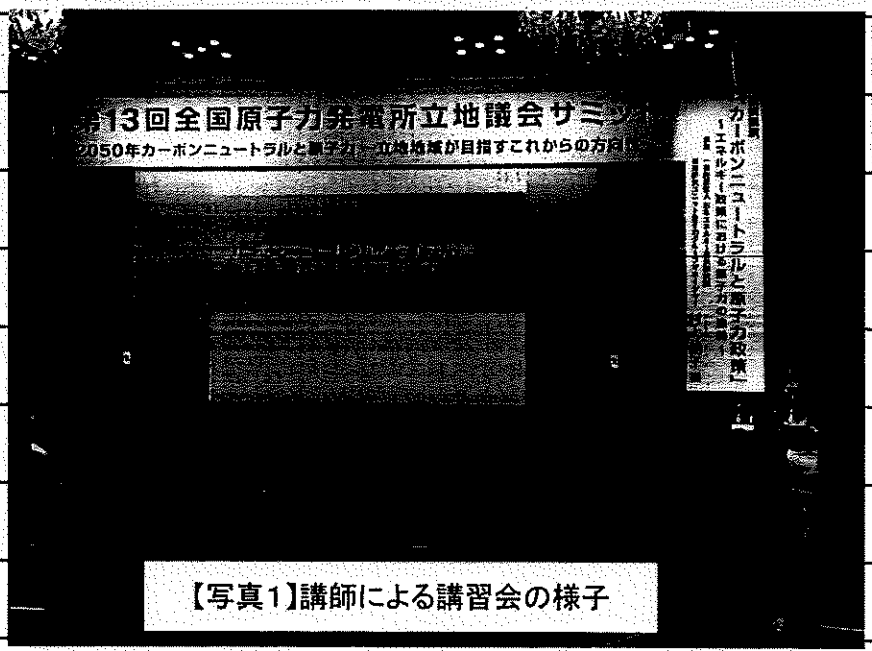
革新炉のロードマップの妥当性、及び革新炉概念が過去の開発の教訓を踏まえたものになっているのか要検討が必要である。

４．再処理・廃炉・最終処分のプロセス加速化

①再処理・ＭＯＸ：日本原燃に対する電力の人的支援強化

②使用済燃料対策：国が全面に立った主体的な対応

③プルトニウムバランス：事業者連携の具体化、地元理解にむけた官民の取組



【写真１】講師による講習会の様子

（様式３－２）

◎第２分科会：脱酸素社会における原子力のあり方

以下の３つのテーマに沿って各議員の意見や課題そして質問等討議を行った。

① エネルギー基本計画と原子力の位置づけ

・エネルギー基本計画では2030年度の電源構成の占める原子力の割合を20～22%程度と従来目標を維持しつつ、安全性の確保を大前提に、原子力は長期的なエネルギー需給構造の安定性に寄与するベースロード電源に位置づけされている。

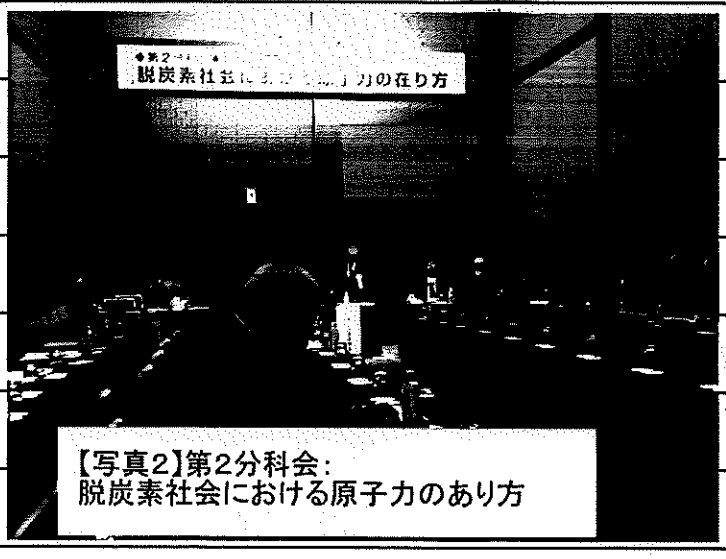
②原子力政策の現状と課題

・ウクライナ情勢で燃料も高騰、電気料金高騰、地球温暖化で気温が上昇する中、エアコンの稼働を制限せざるを得ない。

こんな状況で、化石燃料を使う火力発電を廃止すると電力需要はどうなるのか。国はもっと現状を説明し原子力発電がなくしては電力安定供給がなしえないことを国民に説明をしてもらいたい。

③脱炭素社会に向けた原子力の役割

・発言をさせて頂き現状は原子力の新設は認めない。基本的に４０年廃炉、一度限りで原子力規制庁が認めれば６０年まで延長し稼働できるとしている。又停止期間中も稼働期間としてカウントする。と決めていたが最近の議論の中で、停止期間は稼働時間としてのカウントはしない方針も出されているが根拠を明確にしてもらいたいと発言をさせて頂いた。



【写真2】第2分科会：
脱炭素社会における原子力のあり方